

【科目名】 臨床歯科医学		【担当教員】 野田 忠
【授業区分】 専門分野（発声発語・嚥下障害学）	【授業コード】 5-30-1140-0-1	(メールアドレス) Noda@nur.ac.jp
【開講時期】 2 年次前期	【選択必修】 必修	(オフィスアワー)
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	来学時に対応
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 講義では随時レポートを求める。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】 (目的)言語障害と口腔の構造・機能障害とは密接に関連する場合が多い。口腔・歯・歯周組織に発生する疾患について概略を知り、必要な症例にあつては歯科医師等と緊密な連携を取るために必要かつ十分な知識を習得する。 (方法) 本講義では、プリントにより必要な知識を整理して提供するとともに、ポイントをパワーポイントによる映像で確認させる。また、多数の症例スライドにより、実際に出会う症例について説明する。		
【一般教育目標(GIO)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔・歯・歯周組織の構造と機能を理解する。 ・ 口腔・歯・歯周組織に発生する疾患の病態・診断・治療・予防について理解する。 ・ 対象の年齢による対応の仕方を理解する。 【行動目標(SBO)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔・歯・歯周組織の構造と機能、疾患等について説明できる。 		
【教科書・リザーブドブック】 プリントを配布する。		
【参考書】 Major M.Ash,Jr. 著 小林茂夫訳・『ホイーラー 歯の解剖・生理・咬合学』西村書店, 1990 年 花田晃治 他著・『食べる』新潟日報事業社, 2002 年 山田好秋 他著・続『食べる』新潟日報事業社, 2003 年 野田 忠 他著・『食べる』成育編 新潟日報事業社, 2004 年 山田好秋 他著・新潟発『食べる』新潟日報事業社, 2005 年 山田好秋 他著・『食べる』介護編 新潟日報事業社, 2006 年		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 記述式試験を実施する。試験50%、レポート50%の割合で総合的に評価を行い、100点満点で60点以上を合格とする。 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		50 点	0	50 点	0	0	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	25 点	0	20 点	0	0	0	0	45 点
	思考・推論・創造の力	25 点	0	20 点	0	0	0	0	45 点
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	5 点	0	0	0	0	5 点
	学修に取り組む姿勢	0	0	5 点	0	0	0	0	5 点
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)		時 間 (分)			
1	一生涯の「食べる」をサポートする歯科 歯科とは何か説明できる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			
2	口腔・歯・歯周組織の構造 歯と歯周組織について説明できる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			
3	口腔・歯・歯周組織の構造の発育と老化 加齢に伴う歯と歯周組織の変化を説明できる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			
4	口腔・歯・歯周組織の機能 食べる・話す機能の発達を大まかに説明できる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			
5	口腔・歯・歯周組織の疾患 口腔・歯・歯周組織の疾患の種類を述べるこ とができる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			
6	歯の疾患と治療 歯の疾患の治療・予防の概要を述べるこ とができる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			
7	歯周組織の疾患と治療 歯周組織の疾患の治療・予防の概要を述 べることができる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			
8	口腔軟組織疾患・歯科における患者への対応お よび臨床歯科学まとめ 口腔軟組織疾患の種類を述べるこ とができる。	講義		講義を思い出しながら、配 布した資料を悪人する。		90 分			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。